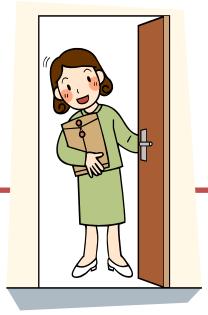
進路だより

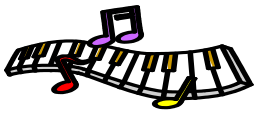
秋田県立秋田きらり支援学校
第４号
令和元年１２月２０日発行

在宅での豊かな社会生活のために



自宅を生活の基盤として過ごす際に利用できるサービスの一つ、「障害児等療育支援事業」について、紹介します。

障害児等療育支援事業



秋田市、又は秋田県から委託された事業所が、在宅の心身障害児・者へ総合的、継続的に行う支援活動です。家族や本人が抱えている困りごとなどの相談ができるほか、実際の療育指導を家庭訪問して、もしくは施設に行って受けることができます。

ただし、事業所によっては障害児や未就学児のみを対象にしているところもあります。現在は行っていませんが１８歳以上でも希望があれば検討するという事業所もいくつかありました。高等部卒業後に利用希望の場合は、早期に相談することをお勧めします。

★居住地等によって委託された事業所が以下のように決まっています。★

【秋田県からの委託事業所】

大館・鹿角地域	花輪福祉会　**障害者センター**
北秋田市地域	社会福祉法人 県北報公会　障害児入所施設　**大野岱吉野学園**
能代市・山本地域	社会福祉法人 山本更生会　障害者支援施設　**大日寮**
秋田市周辺	**秋田県立医療療育センター**
由利本荘・にかほ地域	**由利本荘地域生活支援センター**
大仙地域	社会福祉法人　水交会　**地域サポートセンター川音**
横手地域	秋田県社会福祉事業団　**阿桜園**
湯沢・雄勝地域	湯沢雄勝広域市町村圏組合　**やまばと園**

【秋田市からの委託事業所】

秋田市内	社会福祉法人秋田育明会　**竹生寮**

小学部１年　武田幸音さんは、在学中の今、このサービスを利用して、自宅で絵本の読み聞かせや手を使ったおもちゃ遊び、歌や楽器での音楽活動等を週一回行っています。

（お母さんから）就学前から継続的に人との関わりがあったため、人見知りすることなく、人との関わりを楽しめる今の姿につながっていると思います。入学してからは学校の学習ともつながり、様々な場面で力が発揮されていると感じます。

障害児等療育支援事業の他に、訪問看護や訪問入浴、訪問リハビリは卒業後も利用できるサービスの一つです。サービスを利用することで在宅でも人とかかわる機会が増えますね。

（文責：近江）

小学部からの進路

小学部版

Q&A

卒業後に先輩たちが利用している事業所には、どんなところがあって、どんな活動をしているの？

前号では、秋田きらり支援学校開校以来の高等部卒業時の進路先についてお伝えしました。今号では、その中の「生活介護事業所」と「就労継続支援Ｂ型事業所」について、紹介したいと思います。冬休み前に配付される「個別の支援計画に関するアンケート」を記入する際に参考にしたり、ご家族で進路先について話したりするきっかけにしていただけたらと思います。

生活介護

食事、入浴、排せつの介助等を行うとともに創作活動または生産活動の機会を提供するサービス

- 送迎サービスがある。
- レクリエーション、入浴支援、創作活動、軽作業等、事業所で活動に違いがある。
- 工賃の支払いはないが、事業所の方針により、お小遣い程度の支払いをしている場合もある。

就労継続支援B型

就労機会や生産活動等の機会を提供し、知識や能力の向上のために必要な訓練を行うサービス

- 基本的には自力通勤。事業所により送迎バスあり。
- 身辺自立していることが大切。
- 事業所により違いはあるが、休憩時間以外は一日中作業を行う。

事業所によって、作業内容等に違いがあります。卒業生の保護者からは、「在学中にもっといろいろな事業所を見学しておけばよかった」という声も聞かれます。実際に見学に行き、作業の様子を見たり、各事業所の雰囲気を感じたりすることが、卒業後の生活をイメージすることにつながっていくのではないかと思います。気になる事業所がある場合は、担任や進路指導部にぜひ声を掛けてください。　（文責：池田和）

新規 現場実習先 紹介

１１月１１日～２２日は高等部の後期現場実習期間でした。本校で初めてお世話になった現場実習先を紹介します。どちらの事業所でも、高等部一年生が自分のやりがいを見付けて、活動に取り組みました。

社会福祉法人一羊会「Ｏｎｅ　ｍｅｍｏｒｙ」

（住　　所：秋田市新屋）　（生活介護／Ｂ型）

（活動内容：生パスタ専門店、水耕栽培事業等）

生活介護の実習では、オーダー表の準備、店内装飾準備等をやらせていただきました。

活動場所は２階ですが、エレベーターはありません。隣に生パスタ専門店「Boncafe」があり、Ｂ型利用者はその仕事を行っています。

社会福祉法人秋田育明会障がい福祉サービス事業所「きらっと」

（住　　所：秋田市竹生）（生活介護）

（活動内容：野菜の袋詰め、箱の組み立て等）

高等部１年生が１～２日間ずつ４名、実習させていただきました。にんじんやミカンを決まった数だけ袋に入れたり、稲庭うどんの箱の部品を入れ込んだり、ラベルシールのはく離紙をはがしたり…。４人とも与えられた仕事を一生懸命がんばりました。